

はこだて Star★Light

スターライト

電投番号11#

函館の夜を彩る五稜星たち



令和6年能登半島地震復興支援競輪
函館競輪開設74周年記念【GIIIナイター】

五稜郭杯争奪戦

GORYOKAKU CUP 74th

2024. 5/16 THU 17 FRI 18 SAT 19 SUN

意地を見せる 地元選手

大森 慶一
北海道 88期

祖父(明・引退)、父(芳明・引退)が競輪選手の3代目レーサー。昨年の函館記念では2勝上げた。昨年以上の活躍を期待は大きい。

地元選手

川津 悠揮
北海道 96期

遅咲きだが今年初のS1班に昇格を果す。3月岐阜FI戦だが優参を果すなど調子を上げており走り慣れた地元バンクで伏兵ぶり発揮。

地元選手

山田 敦也
北海道 88期

師匠は伯父の高村敦(元選手・引退)。伯父譲りの鋭い差脚で一時はS1班を堅持。調子は今イチの現況だが地元戦でハッスルは必至。

PICKUP!! まだいゝ! ピックアップ選手!!

注目選手

三谷 竜生
奈良 101期

2月奈良記念では脇本雄太、古性優作らを相手に豪快な捲りを決め昨年に続き地元記念を連覇。強烈な捲りに加え捌きも厳しく近畿ラインに欠かせぬ一車。一発の大駆けを秘めており目が離せない。

注目選手

町田 太我
広島 117期

先行一本で攻めるパワーレーサー。もろさもあるがスナリ主導権を握ると強靱な粘りを見せる。2月高松記念は優参果たし続く佐世保FIでは逃げ切りVと力強く積極果敢な走りは上位陣脅威的。

HOKKAIDO COFFEE 美味しい道ですか?

2024年5月 熊の珈琲店 函館けいりん 池田牧人

今月の注目レース!!
5/16(木)~19(日) GIII ナイター
開設74周年記念 五稜郭杯争奪戦

「函館記念」レースの合間に北海道で一番古い「函館美鈴」のコーヒーをどうぞ

今シーズン毎月視聴者の皆様に「北海道のコーヒー」をプレゼント
オスス×一杯 (5月) 美鈴ドリップコーヒー (マールド・リッチ・アロマ) <詳細はライブ中継にて>

<はこだて年表>
1869(明治2)年5月8日 箱館戦争...終結
1932(昭和7)年 函館で北海道初のコーヒー店「鈴木商店」として「美鈴」創業
1950(昭和25)年 第1回函館市競輪開催
1952(昭和27)年 五稜郭 国の特別史跡に指定
1964(昭和39)年 展望塔「五稜郭タワー」開業
1998(平成10)年 函館で初の「ナイター」競輪開催
2012(平成24)年 函館で初のG.I.Vレース開催
2025(令和7)年8月 オールスター競輪開催(予定)

池田牧人アナのイラストコラム

競輪情報はこちらからもご覧になれます是非!!

Instagram

X(旧ツイッター)

五稜郭杯争奪戦

強豪が揃い熾烈な五稜郭杯争奪戦!!

MVP男!古性優作がV争いをリード!!



注目選手

昨年オールスターで悲願のG1初制覇を達成。更に競輪祭では単騎戦でG1V2を達成と大輪の花が咲く。ハワフルな走りが持ち味だが、機を見て突く強烈な捲りの威力は満点で総ナメのシーンも。

眞杉匠

栃木 113期



注目選手

昨年はG1で3度の表彰台に登るなど年齢を感じさせない走りぶりは真に鉄人だ。的確なレースの読みと捌きは一級品。ライン重視の走りだが混戦時に巧みにコースを突く俊敏な捌きは職人芸。

佐藤 慎太郎

福島 78期



注目選手

ナショナルチームでバリ五輪を目指していたが、引退し競輪一本で戦う決意を固めた。競輪学校時代は早期卒業を果たした超エリート。鋭いダッシュ力は非凡なものがあつて近畿ラインの先陣を切る。

寺崎 浩平

福井 117期



注目選手

昨年G1初の決勝進出となった日本選手権を制覇し一発で頂点を仕留めタイトルホルダーの仲間入りを果たす。鋭い出足を生かした強烈な捲りが真骨頂。特に混戦に持ち味を発揮するタイプで見逃せない。

山口 拳矢

岐阜 117期



注目選手

2020年ヤンググランプリを制覇。昨年の競輪祭では眞杉匠に強襲され準Vと大魚を逃したが、近況は力強さが増し更にパワーアップで充実ぶり示す。南関東の機動型とし選手間の信頼厚く爆走は必至。

松井 宏佑

神奈川 113期



注目選手

昨年は致命的な頸椎骨折で3年間維持してきたS班を明け渡すも1年で復帰をと闘志燃やす。失格、落車を怖がらぬ走りは玄人受けする。捲り脚を搭載した鋭い差脚は相変わらず健在ぶり示すか。

守澤 太志

秋田 96期

おもな出場予定選手			
班別	選手名	登録地	期別
SS	慎太郎	福島	78
	太優響	島根	100
	山杉口	大阪	107
	新眞山	福大	113
	山田	青柳	117
S1	大川守	北海道	88
	郡松寺	北海道	96
	山田	北海道	96
	山田	北海道	99
	山田	北海道	113
S2	山田	北海道	117
	山田	北海道	88

開設74周年記念「五稜郭杯争奪戦」が5月16日から19日の4日間豪華メンバ―を迎えて開催される。昨年MVPに輝いた古性優作をはじめ2月岐阜卓の全日本選抜を制した郡司浩平らS級S班5名が参戦とスター選手が揃いハイレベルなレースが繰り広げられる。優勝争いをリードするのは実績で勝る古性優作だ。近畿ラインの先陣を切る寺崎浩平や東口善明、三谷竜生と結束して目指すはVの文字だ。南関東のE1ス郡司浩平が今年3月まで5場所走り優勝3回と破竹の勢いを見せている。同期の和田真久留や機動型でパワーアップした松井宏佑らと連係で南関東で表彰台独占も。北日本勢にも役者が揃った。徹底して攻める新山響平やマークの職人佐藤慎太郎さらに



注目選手

昨年は全日本選抜、高松宮記念杯に続き寛仁親王牌を制しG1V3を達成し2023年の最優秀選手賞に輝く。どんな展開にも即応する器用な脚質で実績はピカイチの存在。シリーズの主役を演じる。

古性 優作

大阪 100期

究極の決め脚を誇る守澤太志が加わりラインは弾力で新山響平の出来次第では北日本勢で上位独占も。昨年G1を2度制覇した眞杉匠もVの一角を占める。調子を上げてきた小林泰正が同乗なら関東ライン形成となるが競輪祭では単騎でも戦えることを立証。3月取手ウィナーズカップの落車の影響が気がかりだが万全なら最も怖い一人。中部のスプリンター山口拳矢も調子を振り戻しつつある。3月玉野記念では優勝を果し3着と本来の鋭い動きが見られた。混戦に強くもつれた展開なら出番ある。中四国勢からは先行二本で戦う町田太我やベテラン小倉竜一や岩津裕介らも虎視眈々と発狙つ。



注目選手

徹底して攻めを貫く北日本の大砲。昨年に続き2年連続でS班の地位を確保は一流の証。前を取つての突っ張り先行が持ち味で末の粘りは強靱。先行日本一の呼び声が高く北日本浮沈の鍵を握る。

新山 響平

青森 107期



注目選手

南関東のエース。2月の全日本選抜を制し3年ぶり3度目のG1制覇。年末に行われるグランプリの切符を真つ先に手に入れS班返り咲きを確定させた。近況Vを量産中で破竹の勢いでVを争う。

郡司 浩平

神奈川 99期